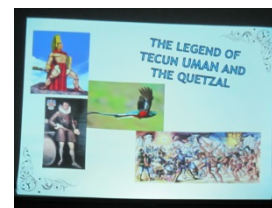


留学生 2 名が貝塚市立第五中学校でプレゼンテーションを行いました

6月5日（金）に、グアテマラの留学生エレナさんとフランスの留学生マリさんが貝塚市立第五中学校を訪れ、2年生 81 名に対し自国の文化等について話をしました。「国際理解学習」の一環として他国の文化を学ぶ授業において、2名の留学生よりそれぞれの国の伝統、祭り、食べ物や気候、観光や経済などを紹介するプレゼンテーションが行われ、その後生徒達からの質問がありました。

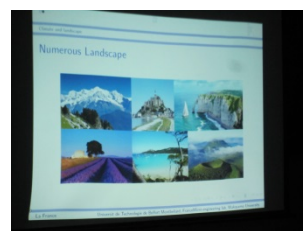
グアテマラのエレナさんは、マヤ文明とスペイン文化に根ざした伝統的な行事、舞踊、食べ物、音楽等について紹介しました。写真で紹介された民族衣装や祭りの様子では、日本では見られないような鮮やかな色彩の服装や華やかな飾り物ものが目立ちました。また、国民的な楽器として、深く美しい音色を奏でるマリンバがグアテマラの伝統行事と共に紹介されました。



「日本に来て驚いたことは何ですか。」という質問に対し、エレナさんは、「自転車や車の駐車場所が厳しく決められていることや、自分の前を横切る人達が最後まで通り過ぎるのを待つといった日本のルールや細かい規制に驚いた。」と答えました。また、日本に留学を決めた理由として、日本の発達した技術や異なる文化、国民性を挙げ、親切すぎるぐらいに感じる日本人のやさしさに驚いたことを話していました。



フランスのマリさんは、フランス国内でも地域によって異なる気候や食べ物、人口密度や観光地について説明し、世界中から多くの人々が訪れるパリにぜひ観光で訪れて欲しいと話しました。また、フランスに比べ日本は人口密度が高いことや、フランスはケルト系、ラテン系、その他様々な少数民族や宗教が共存する国であることが説明されました。その他、日本とフランスの食事の違いが挙げられ、日本では複数の料理を一度にテーブルに並べて食べるのが一般的なのに対し、フランスでは食前酒、前菜から始まり、メイン、チーズ、デザート、コーヒーなどの順番に一つずつ料理が出されることが紹介されました。



生徒達から2国の国旗の意味を尋ねる質問があった後、先生から日本の国旗の意味を問われると、生徒達には戸惑う様子が見られました。外国に行くと自国のことを聞かれるため、もっと日本について勉強しておかなければならないということが先生から伝えられました。プレゼンテーションを聞いた生徒からは、「日本とは異なる文化や建物、観光地について勉強になり、興味を持った。機会があれば両国を訪れてみたい。」といった感想が聞かれました。

2015年6月8日 国際教育研究センター